WOOD DESIGN EXPERIENCE @横浜

日本の森を巡る旅しおり



知っていますか？
木を使うことは
身近な「花粉症対策」

我が国の人工林は、その多くが伐採期を迎えています。スギをはじめとする国産材の魅力に直接触れる体験を通じて木材を積極的に使い、「木を伐って、使って、植えて、育てる」という森林循環を実現することで、花粉発生源となるスギ人工林を減らすとともに、花粉の少ない森林への植え替えを進めることができます。

JWDA
もっと、木と
一般社団法人日本ウッドデザイン協会

日本の森を巡る旅しおり

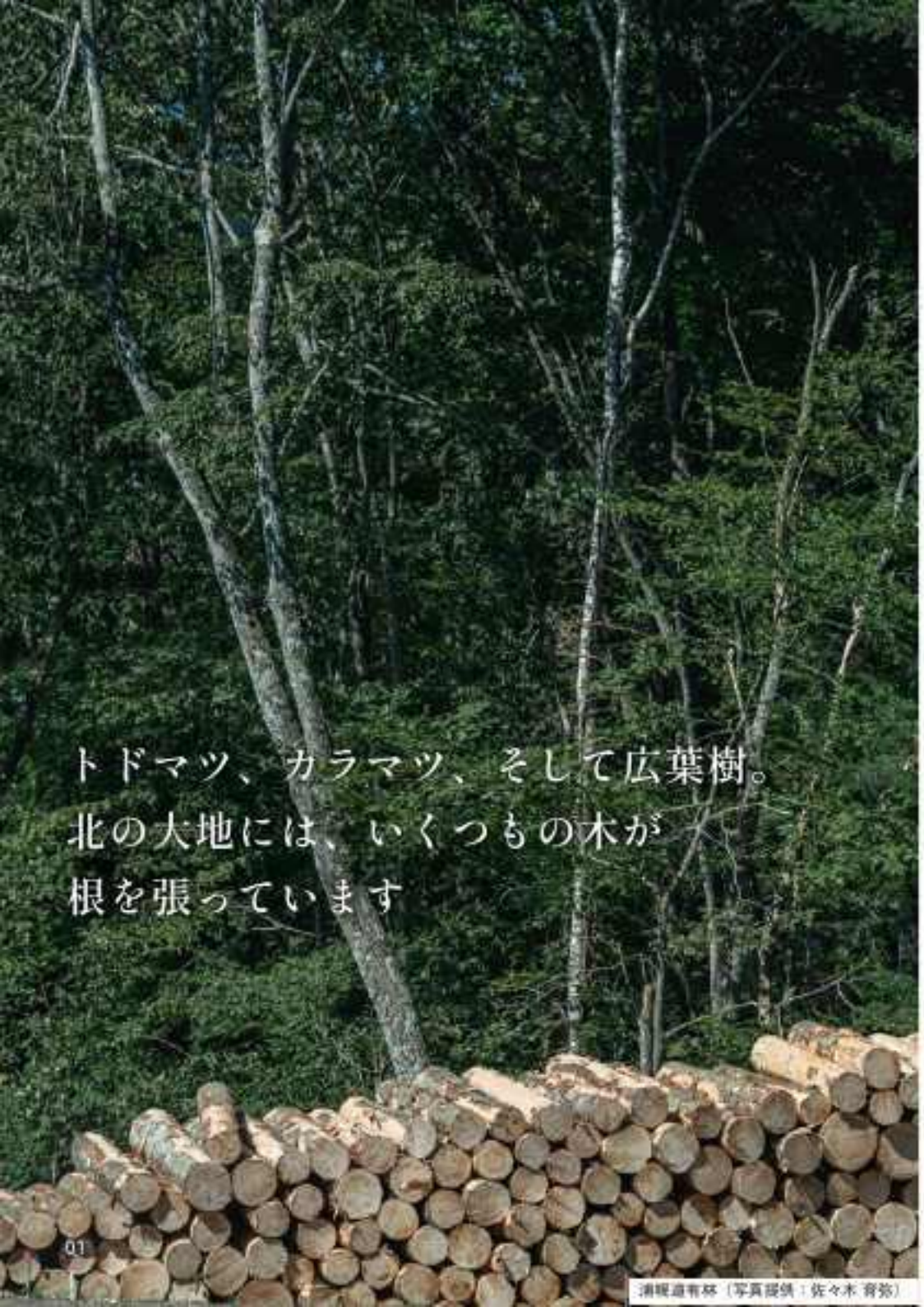
WOOD DESIGN EXPERIENCE @横浜
2026年10月31日（土）・11月1日（日）
会場：クイーンズスクエア横浜 1階 クイーンズサークル
発行：一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
発行日：2026年10月31日
企画・編集：ココホレジャパン株式会社
林野庁
令和7年度花粉症対策木材の利用拡大に向けた機運の醸成事業

森林データ：林野庁「森林資源の現況」（2022年3月31日現在）。順位は同データをもとに編集部が算出。
地図：地理院地図 Global（国土地理院）を加工して作成

北海道から大分まで、8つの森へ

北海道・秋田・静岡・岐阜・奈良・鳥取・広島・大分

静岡県浜松市天竜区（天竜美林）



トドマツ、カラマツ、そして広葉樹。
北の大地には、いくつもの木が
根を張っています

01

道東道有林（写真提供：佐々木 育弥）

北海道 HOKKAIDO

多彩な樹種と開拓の歴史が北の木の文化を育てた

針葉樹と広葉樹がパッチワークのように広がる北海道の森。アイヌの人々は、カツラの巨木から丸木舟を削り出し、オヒョウやシナノキの樹皮から着物を織るなど、森の恵みとともに暮らしてきました。明治に開拓が進み、鉄道が通って旭川に旧陸軍の第七師団が移ると、本州から大工や家具・建具の職人が移り住みます。これが家具のまち・旭川のはじまりとされています。いま、戦後に植えたトドマツやカラマツの人工林が使いどきを迎え、森と暮らしをつなぎ直す取り組みが進んでいます。

森林面積	553.5万ha 全国1位
森林率	71%
人工林率	26%
代表的な食べ物	海鮮丼、ジンギスカン、札幌ラーメン、スープカレー



北海道の木を知る


写真提供：北海道

トドマツ

道内の人工林の約半分を占める木。製材の多くが建築用に使われ、寒い土地の暮らしを支えてきました。


写真提供：北海道

道南スギ

江戸時代に本州から持ち込まれたとされるスギ。北海道に自生しないスギが、渡島・檜山地方で根づいています。


写真提供：北海道

カラマツ

戦後、トドマツとともに盛んに植えられた木。成長した人工林が、いま本格的な伐りどきを迎えています。

藩が守り、人が植えた。
秋田の産業と暮らしを
支えてきた「秋田スギ」

秋田県湯沢市秋ノ宮（神室岳登山口付近）

秋田県 AKITA

日本三大美林とともに歩んだ秋田スギと木都・能代

米代川と雄物川の流域に育つ天然秋田スギ。日本三大美林のひとつで、江戸時代には秋田藩の大切な財源でした。乱伐で山が荒れると、九代藩主・佐竹義和は林政の改革に乗り出し、藩の役人・賀藤景林（かとうかげしげ）が山の保護と植林を進めます。伐り出した杉は筏で米代川を下り、北前船の寄港地・能代へ。能代はやがて「東洋一の木都」と呼ばれるまでになりました。戦後は官民をあげた造林が進み、秋田はいま、杉人工林の面積が全国一の"杉の王国"です。

森林面積	83.9万ha 全国7位
森林率	72%
人工林率	48%
代表的な食べ物	きりたんぽ鍋、稲庭うどん、比内地鶏、いぶりがっこ



杉の王国を知る


鳥海山

人工林と天然林

県の人工林の約9割はスギ。一方、天然林にはブナなどの広葉樹の森も広がっています。


秋田県大館市

大館曲げわっぱ

大館城主の佐竹西家が武士の内職として奨励したとされる器。酒田や新潟、関東へも運ばれていきました。


MOXIA（秋田県能代市）

木のノート

MOXIAの木のノート。秋田スギを柾目で極薄にスライスした無塗装の表紙は、使うほどに経年変化を楽しめます。



何世代もの人の手が育て、守り継いできた天竜の美林

静岡県浜松市天竜区（天竜美林）

— 静岡県 SHIZUOKA

室町から続く植林が育てた日本三大人工美林・天竜

吉野、尾鷲と並ぶ日本三大人工美林のひとつ、浜松市天竜区の天竜美林。その起源は、室町時代に秋葉神社の境内林へ植林した記録にさかのぼるといわれ、江戸時代には山住神社の宮司が大規模な植林を行いました。明治に入ると、たびたび氾濫する“暴れ天竜”を鎮めようと、金原明善が私財を投じて川の上流に植林を進めます。区の面積の約9割を森林が占める天竜を擁する浜松市は、いまFSC認証の取得面積で市町村別日本一。人の手で育てた森を使い、また育てる営みが続いています。

森林面積	49.6万ha
森林率	64%
人工林率	56%
代表的な食べ物	うなぎ、桜えび、静岡おでん、富士宮やきそば



天竜の森を知る


静岡県浜松市天竜区（天竜美林）

森を手入れする人

下刈り、枝打ち、間伐。何世代にもわたる人の手入れが、天竜の美しい森をつくってきました。


静岡県

原木市場

天竜材を扱う県森林組合連合会の原木市場。丸太を一本一本目で見て選別し、積み上げていきます。


静岡県

FSC認証の先進地

適正に管理された森を国際基準で示す認証。天竜では市や森林組合などが協議会をつくり、共同で取得しています。



伊勢神宮の御用材を
送り出す裏木曽の森と、
飛騨の匠の技

岐阜県中津川市加子母（裏木曽国有林）

岐阜県 GIFU

「木の国・山の国」と
うたわれる森の県

「岐阜県民の歌」で「木の国山の国」とうたわれる岐阜県。その森と技を象徴するのが、銘木「東濃ひのき」と「飛騨の匠」です。奈良時代、山深い飛騨国では税の代わりに木工の職人を都へ送る仕組みがあり、匠たちは寺社の造営に携わりました。伊勢神宮の御用材の産地として知られる中津川市加子母・付知・川上の裏木曽では、厳しい寒さのなかで年輪の詰まったヒノキが育ちます。江戸時代、尾張藩は「木一本、首一つ」と呼ばれるほど厳しい禁制で森を守り、その美林はいまも国有林として受け継がれています。

森林面積	86.1万ha 全国5位
森林率	81% 全国2位
人工林率	45%
代表的な食べ物	飛騨牛、栗きんとん、朴葉味噌、鮎の塩焼き



御用材の里・裏木曽


岐阜県中津川市加子母

鳥総立て（しそうたて）

木を伐ったあと、切り株に梢（こずえ）を立てて山の神に感謝する古い儀礼。森の再生への祈りが込められています。


東濃森林管理署所蔵

付知に残る古資料

「付知川に於ける材木伐出の沿革と絵解」。昔の木の伐り出しや運び出しの技術が描かれています。


岐阜県中津川市加子母

加子母明治座

明治27年に舞台開きした芝居小屋。創建時の檜葺き屋根を復元し、いまも地歌舞伎の舞台として使われています。



密に植え、手間をかけて。
天に向かってまっすぐ
伸びる「吉野杉」

奈良県吉野郡川上村

奈良県 NARA

500年の植林の歴史が息づく
日本の造林発祥の地

日本の林業発祥の地とされる奈良県南部の吉野地域。吉野川源流の川上村には、1500年ごろに人の手で植林が行われた記録が残っています。豊臣秀吉の時代には、大坂城や伏見城の普請材にも吉野の木が使われました。吉野林業の特徴は、1haに約1万本もの苗を植える「密植」、間引きを繰り返す「多間伐」、80～100年ほどかけて育てる「長伐期」。こうして年輪が細かくそろい、節の少ないまっすぐな杉が生まれます。江戸時代には酒樽の材料「樽丸」としても重宝されました。

森林面積	28.4万ha
森林率	77% 全国6位
人工林率	61%
代表的な食べ物	柿の葉寿司、三輪そうめん、奈良漬、吉野葛



吉野林業を知る


奈良県吉野郡川上村

森を守る山守

江戸時代の元禄期から「山守」と呼ばれる人々が森を守ってきた奈良。いまは林業学校で新しい担い手も育てています。


奈良県

緻密な年輪

芯が真円に近く、年輪が細かく均一な吉野材。節が少なく、高級材として重宝されています。


奈良県吉野町（奥吉野林業）

樽丸と酒

杉樽に詰めた上方の酒は、運ぶ間に杉の香りが移り、江戸の人々に喜ばれたといいます。



鳥取県智頭町（芦津集落周辺）

鳥取県 TOTTORI

藩の植林からはじまった 林業のまち・智頭

鳥取県の南東部、岡山県と接する智頭（ちづ）町。江戸時代、山林の減少が原因とされる洪水や飢饉が相次いだため、鳥取藩は災害対策と産業振興を目的に杉の植林を進めました。明治20年ごろには天然杉の枝から苗を育てる技術が確立し、人工造林が大きく広がります。1922年には芦津を起点とする沖ノ山森林鉄道の敷設が始まり、奥山の木材を運び出しました。人工林と山村集落、宿場町・智頭宿までを含む一帯は、2018年に「智頭の林業景観」として国の重要文化的景観に選ばれています。

森林面積	25.9万ha
森林率	74%
人工林率	54%
代表的な食べ物	松葉ガニ、二十世紀梨、牛骨ラーメン、とうふちくわ



智頭の森をめぐる


鳥取県智頭町

旧山形小学校

1942年に智頭の木で地元の人々が建てた木造校舎。81mの廊下が残り、林業に関する展示が見られます。


鳥取県智頭町（芦津ダム）

芦津セラピーロード

重要文化的景観の森を歩く道。天然杉と広葉樹の混交林が、四季を通して美しい表情を見せます。


鳥取県智頭町

軒先の杉玉

酒蔵の目印として知られる杉玉。杉のまち・智頭では、智頭宿の民家の軒先に飾られています。



雨の多い山奥で
大きく育つ
銘木「魚梁瀬杉」

高知県馬路村（千本山）

高知県 KOCHI

豊かな雨と森林鉄道が銘木の村を支えた

高知県東部、徳島県との県境に近い馬路村。魚梁瀬（やなせ）地区は年平均雨量が4000mmを超える多雨地帯で、豊かな雨と温暖な気候が杉を育ててきました。県の木でもある魚梁瀬杉。秀吉が方広寺の大仏殿を建てる際には、木材の産地として土佐が第一に選ばれ、長宗我部元親が搬出を指揮したと伝わります。1911年には森林鉄道が開通し、のちに西日本最大といわれた路線が木材や村の暮らしを運びました。その軌道跡は、いまは特産のユズを運ぶ「ゆずロード」に生まれ変わっています。

森林面積	59.4万ha
森林率	84% 全国1位
人工林率	65% 全国2位
代表的な食べ物	カツオのたたき、土佐あかうし、皿鉢料理、芋けんぴ



高知の森を知る


高知県馬路村（千本山）

千本山

伐採を禁じた保護林。登山口の「権の大杉」は高さ54mで、「森の巨人たち百選」に選ばれています。


高知県馬路村（魚梁瀬ダム湖）

森と清流

雨の多い高知では、深い森が清らかな川の流れを育みます。山あいを訪ねると、森と水の近さを感じられます。


土佐犂（高知県）

四万十ヒノキ

県西部で育つもうひとつの土佐材。油脂分が多く水切れがよいまな板は、乾きが早く長持ちします。



寒暖差の大きな
山あいの盆地で育まれる
「日田杉」

大分県日田市（田島山業の山林）

— 大分県 OITA

天領として栄えた
九州の杉のまち・日田

阿蘇・くじゅうや英彦山の山々に囲まれた大分県日田（ひた）市。江戸時代には幕府の天領として栄え、九州の政治・経済・文化の中心地でした。市の面積の約8割を森林が占め、夏は暑く冬は冷え込む寒暖差の大きな盆地で、杉が育てられてきました。伐り出した丸太はかつて筏に組まれ、筑後川を下って河口の木材の集散地・大川へ。林業と木工業がまちを支える日田では、日田下駄をはじめ、地元の杉を生かしたものづくりがいまも続いています。

森林面積	45.1万ha
森林率	71%
人工林率	51%
代表的な食べ物	とり天、関あじ・関さば、だんご汁、中津からあげ



日田杉を暮らしに



大分県日田市（田島山業）

山から木工品へ

日田の山で伐り出された杉の丸太。建材や家具、下駄などの木工品へと姿を変えていきます。



ヤブクグリ（大分県日田市）

赤太のまな板

水に強くかびにくい杉の芯材「赤太」だけでつくったまな板。木目の美しさも魅力です。



ヤブクグリ（大分県日田市）

ハダカですわる椅子

林業を応援する「ヤブクグリ」の風呂椅子。無塗装の杉のぬくもりが肌に心地よく、丈夫で長持ちします。

WOOD DESIGN SPOTS

ウッドデザインな場所

JAPAN WOOD DESIGN AWARD



北海道｜ウッドデザイン賞2023

BALLPARK TAKIBI TERRACE ALLPAR

野球場を望む1棟貸しのグランピング施設。道産カラマツの構造材や道南杉の外装など、北海道の木で建てられています。

北広島市Fビレッジ8番地
JR北広島駅から徒歩約19分



秋田県｜ウッドデザイン賞2017

あきた文化産業施設 松下

使われていなかった割烹料亭を、秋田の文化を発信する拠点に改修。大広間を生かしつつ、木の空間を加えています。

秋田市千秋公園1-3
JR秋田駅から徒歩約10分



静岡県｜ウッドデザイン賞2018

静岡県富士山世界遺産センター

地域材のヒノキを使い、約8,000ピースの木格子で「逆さ富士」をかたちづくった展示棟が目印です。

富士宮市宮町5-12
JR富士宮駅から徒歩約8分



岐阜県｜ウッドデザイン賞2021

KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE

学びの森と市民公園をつなぐ、子どものための屋内施設。岐阜県産材を使った建物と木の遊具がひとつながりです。

各務原市那加雲雀町30-1
名鉄各務原市役所前駅から徒歩約5分

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見できる製品や取り組みを、消費者の目線で評価して表彰する賞です。8つの道県から、旅の途中に訪ねたい受賞作をひとつずつ紹介します。



奈良県｜ウッドデザイン賞2020

奈良県コンベンションセンター

吉野杉の集成材と鉄骨を組み合わせた大屋根の「天平広場」が中心。天平文化をモチーフにデザインされています。

奈良市三条大路1-691-1
近鉄新大宮駅から徒歩約10分



鳥取県｜ウッドデザイン賞2025

道の駅 ほうじょう

県産のLVL（単板積層材）とスギを組み合わせた木の架構が、大きな空間をつくる道の駅。2025年4月にリニューアルオープンしました。

東伯郡北栄町国坂1525-92
北栄ICから車で約7分



高知県｜ウッドデザイン賞2019

美馬旅館はなれ 木のホテル

岩本寺の参道沿いに建つ木造2階建ての小さなホテル。四万十ヒノキに土佐漆喰や土佐和紙を合わせています。

高岡郡四万十町本町4-41
JR窪川駅から徒歩約7分



大分県｜ウッドデザイン賞2015

JR日田駅

2015年のリニューアルで、駅舎の内外装に地元の日田杉をふんだんに使用。窓の格子にも日田杉が使われています。

日田市元町11-1
JR久大本線 日田駅